



校長室だより

校長 山崎 聡子

卒業式を迎えるにあたって

明後日3月19日(水)に卒業式を迎えます。小学校には、学校生活に秩序と変化を与え学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うこととして、多くの行事があります。その中で、学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行うこととして、儀式的行事を設定しています。(学習指導要領：特別活動)

その一つである卒業式は、小学校生活最後の行事であり、大きく大切なものであると考えています。卒業式を迎えるにあたって、11日(火)に、予行練習を行いました。練習とは思えない立派な姿を見せました。在校生代表として共に練習に参加している5年生もすばらしい姿で参加をしていました。

一つ一つの所作、卒業式の心構え、卒業式の意味を子供たちに伝えながら、2月の中旬から、卒業式に向けて練習を積み重ねてきました。6年生は今までの小学校生活を振り返る中での感謝の思いとこれから待ち受けている未来への希望を胸に抱きながら卒業式を迎えることと思います。そして、5年生は、在校生代表として、6年生への感謝の思いを伝えながら、最高学年となるバトンをしっかりと受け継ぐ思いをもって式に臨むことと思います。

この1年間を振り返ってみると、6年生のたくさんの頼もしく、温かな姿が目に見えます。4月の入学式準備では、声をかけ合いながら会場や教室、廊下やトイレなど整えていた姿、登校してくる不安そうな1年生

に優しく声をかけ、歩く速さを調整しながら、教室まで一緒に登校していた姿、登校班会では、教室まで迎えに行き、集まる場所へ連れていく姿、体カテストでは、数を数えたり、手をつないで移動したり、応援したりなど下学年を支えている姿、運動会では、様々な係活動を率先して行い、学校全体を動かしていく頼もしい姿、あいさつ運動や思いやりプロジェクトでは、自主的に行動し、全校児童の手本になっていた姿、委員会活動では、様々な企画をして、全校児童を活気づけたり、常時活動では目立たない仕事であっても、自分の役割に責任を持ち、黙々と行動していたりする姿などがありました。最近の出来事として、道路工事が行われたため、舗装されていない通学路を歩く時に、「どこを歩いていいか分からなくて困っている人たちがいる」と声をかけてきた6年生もいて、周りのことをよく見て、気遣いながら行動できる頼もしさと温かさにうれしく思いました。私が感じた姿は、ほんの一部であり、日常生活の中に、すばらしさはもっともっとあふれていたことと思います。

先日、中学校で一足先に卒業式が挙行されました。私も参列させていただきましたが、感謝の思いであふれたすばらしい式でした。学校生活を送る中では、いつも良いことばかりではなかったと思います。悲しいこと、辛いこと、悩んだこともたくさんあったことと思います。でも、だからこそ、他者の存在の大きさ、温かさを感じることができるのだらうと思いました。

明後日迎える卒業式。心をこめて式を行いたいと思います。